



ようやく暖かくなって樹々の芽もふくらみ、着々と春の準備が進められています。学校でも新学期の準備が始まる頃と思います。次年度の計画を立てながら、新たな気持ちで学級開きの準備を行うにあたり、教育ライブラリーの図書や雑誌が参考になるかもしれません。教育ライブラリーには、たくさんの教育図書、研究紀要・論文、教育雑誌、視聴覚資料などがあります。研究や研修にぜひお役立てください。教育ライブラリーでは、閲覧はもちろん貸出もできます。基本的に土曜日も利用できます。開館予定日は当ホームページでご確認ください。

書籍紹介

①「授業力&学級経営力 3月号」 (明治図書 2026年発行)

雑誌「授業力&学級経営力」3月号の特集は「なぜか余裕のある先生がやっている新年度準備のすべて」です。年度末の多忙な中、新年度の準備も気になるところ。一年の計は元旦にありなどといいますが、新年度の計は年度初めにあります。そうした需要を見越したタイムリーな特集です。特集の最初は「なぜか余裕がある先生の春休みスケジュール帳」です。4人の先生方の春休みの過ごし方が紹介されていますが、後日の余裕を生み出すためになるほど、そんなことをしているのかとたいへん参考になります。バタバタしている間に何となく過ぎてしまう春休みですが、真似してみるといいかもしれません。その他、教室環境の整え方、新入生を迎える1年生担任の準備、教材研究、AIを活用した事務処理効率化などが取りあげられています。1年間を見通して春休みを有効に活用するためにはどうすればいいだろうと考えている方はぜひ参考にしてみてください。もちろん休養もお忘れなく。

②「『分かりやすい教え方』の技術 『教え上手』になるための13のポイント」

藤沢晃治/著 (講談社 2009年発行)

教える立場にある人々にとって非常に参考になる指南書です。本書の最大の魅力は、「教え方」を技術として体系的に捉え、誰でも実践できる具体的な方法を提供している点です。難解な内容をシンプルかつ効果的に伝えるためのポイントを豊富な実例とともに紹介しています。

例えば、相手の理解度を的確に把握するための質問の仕方や、どんな言葉を使えば伝わりやすいのか、また学習者の心理を理解してモチベーションを引き出すテクニックなど、教育現場でも即実践できるヒントが満載です。

さらに、単なる「知識の伝達」にとどまらず、相手が自ら考え、理解を深めていくプロセスをサポートする方法にも焦点を当てています。これにより、教える側は技術を磨き、学ぶ側はより深い学びを得ることが期待できます。

教育者だけでなく何かを伝える立場にある人全てにとって、教え方の奥深さを再認識させてくれる本です。

雑誌紹介

雑誌名	号	特集等（抜粋）
国語教育 (明治図書)	3月号	<p>【特集】永久保存版 漢字指導演図鑑</p> <p>◇こうすれば、漢字指導はもっとよくなる！</p> <p>◇漢字指導演図鑑 学習システム ゲーム&あそび ICT活用 ワークシート 自由進度学習</p> <p>◇令和6年度「国語に関する世論調査」の結果からみる国語科の課題 漢字指導の参考情報とともに</p> <p>【連載】◇学びが見える！今月の国語板書録</p> <p>◇生成AI vs. 作文教育 生成AIとともに歩んだ一年 「書く」ことの再定義と、人間が担う「意味」の未来</p>
社会科教育 (明治図書)	3月号	<p>【特集】<次期学習指導要領に向けた>社会科教育内容の構成と授業展開</p> <p>◇<次期学習指導要領に向けた>社会科教育内容の学習論と方法 これからの課題と展望</p> <p>[地域学習]地域の構成・存続・価値に迫る学びの必要性</p> <p>[国土学習]国土学習と産業学習を関連させて内容を構成する</p> <p>[人物学習]人物の行為からその時代の社会構造を問う</p> <p>[政治学習]協働的な学びの推進で政治学習の改善を</p> <p>[地誌学習/系統地理学習]深くて持続可能な社会を目指す地理学習へ</p> <p>[地図・GIS]地図の2つの機能を意識した活用で質の高い学びの実現を</p> <p>[通史学習・主題学習]通史学習・主題学習の当たり前？の再検討</p> <p>[社会史/オーラルヒストリー]主権者の育成に貢献する歴史授業づくり</p> <p>[グローバル・ヒストリー]社会問題を読み解き未来を構想する論理へ</p> <p>[法関連教育・法教育]対立を乗り越えるための技能と考え方</p> <p>[消費者教育]社会科ならではの授業づくりの方向性とは</p> <p>[租税・金融教育]市民社会の中で語るとはどういうことか</p> <p>[環境教育]ありたい未来を構想するESDとしての環境教育</p> <p>[市民性教育]グローバルな視点から歴史を比較する学習方略</p>
数学教育 (明治図書)	3月号	<p>【特集】新学習指導要領と数学教育のゆくえ</p> <p>◇「学習指導要領の構造化」とはどういうことか</p> <p>◇認知心理学や学習科学の知見の活用</p> <p>◇数学的推論や論証（証明）など、論理的に考察し説明する学習の改善</p> <p>◇文理横断・文理融合（STEAM）の推進</p> <p>◇デジタル学習基盤の活用や情報活用能力の育成強化で算数・数学に求められること</p> <p>◇AIドリルの効果的活用のあり方</p> <p>◇柔軟な教育課程の編成と学校段階や学年を越えた学び直し</p> <p>◇生徒の認知特性に応じた個別最適な学び</p> <p>◇過度な負担が生じにくい学習評価のあり方</p>
理科の教育 (東洋館出版社)	3月号	<p>【特集】日常生活とつながる理科授業 理科室で完結させない学びの在り方</p> <p>◇自然現象を日常生活に当てはめて考える授業実践</p>

		<p>[小学校]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養教諭が協働する日常生活にある「食」とつなげた理科授業 ・第5学年「氷をとかせ！大作戦」における協働とAI活用の実践 他 <p>[中学校]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校における宇宙の広がり生活を生活スケールに落とし込む授業実践 ・鏡についた水滴を教材にした光の単元の授業実践を例に 他 <p>[高等学校]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な食品を題材とした探究的実験 ・身近な「砂」を起点に地球環境と人間の共生を考える
英語教育 (大修館書店)	3月号	<p>【第1特集】授業でもっと気軽に[やり取り]を！段階的に伸ばす運用力</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇中学生の実態から考える「やり取り」指導 ◇脱・不自然なやり取り指導 ◇聞き手の反応を想定したメモで即興性への足場かけ ◇やり取り指導を見直すためのQ&A <p>【第2特集】実践投稿でシェアする 私の授業・工夫のしどころ Part 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇自律した英語学習者を育てる「主体的・対話的で深い学び」のフレームワーク ◇生徒が学び方を選ぶ授業：自律を支える小さな選択の積み重ね ◇題材と自分・仲間をつなげるリテリング ◇特別支援学級における英語授業の実践：「できない」から「もっと学びたい」へ ◇ビデオ会議システムを活用した交流授業：第二言語を使ったコミュニケーション能力の向上及び異文化理解
道徳教育 (明治図書)	3月号	<p>【特集】問い返し力を鍛える</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇スペシャリストが教える！問い返しの極意と問い返しトレーニング法 ◇問い返しの機能と分類 問い返しチェックリスト付 ◇やってはいけない問い返しNGフレーズ ◇困った発言&想定外場面 どう問い返す？どう対応する？ ◇超有名教材における「問い返し」成功例×失敗例 雨のバス停留所で まどガラスと魚 うばわれた自由 手品師 ロレンゾの友達 一冊のノート 卒業文集最後の二行 ◇実況中継/逐語録と問い返し スペシャリストは、なぜここで問い返したのか ブランコ乗りとピエロ バスと赤ちゃん 他
授業力&学級経営 力 (明治図書)	3月号	<p>【特集1】徹底解説！学習指導要領改訂で学校・授業はどう変わる？</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇次期学習指導要領の基本的な考え方と方向性 ◇10大キーワードと現場の先生が考えておきたいこと <p>【特集2】なぜか余裕がある先生がやっている 新年度準備のすべて</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇なぜか余裕のある先生の春休みスケジュール帳 ◇始業式直前で慌てない！教室環境の事前準備 ◇入学式もスマートに乗り切る！1年生担任の準備のすべて ◇AIフル活用！新年度の事務処理効率化のコツ ◇のちのち差がつく！春休みに進めておきたい教材研究のポイント

<p>生徒指導 (学事出版)</p> <p>3月号</p>	<p>【特集】生徒指導担当の「1日」と「1年」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇見通しをもった生徒指導の計画を立てるためには ◇[特別座談会] 生徒指導主事の「1年間の心構え」について考える ◇生徒指導対応に追われる1日のポイント ◇穏やかな1日のポイント <p>【インタビュー】スマホは持っている、でもご飯が食べられない 「見えない貧困」に気づくために、学校ができること</p> <p>【連載】◇今だから質問しよう！日本の学校の常識</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇学校いじめ防止基本方針改訂への生徒参画の試み 生徒会活動の実践 ◇日本の教育再生のために スクールカウンセラーの常勤化を ◇教師を楽しむ仕事論 異動1か月で“この学校の空気”を読む方法
<p>教職研修 (教育開発研究所)</p> <p>3月号</p>	<p>【特集1】外国につながる子どもと歩む 衝突・誤解・リソース不足に向き合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇外国につながる子どもの教育「どこまでやるのか」 ◇知っておきたい 外国につながる子どもがさらされている困難 ◇「人・制度不足」のなかで学校にできること ◇ともに生きる学校づくり <p>【特集2】「キレル」を問題行動で終わらせない 子どもの息苦しさ SOS</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇「キレル」の正体 ◇自由な人間関係の光と影 ◇「キレル」を叱る前に 感情を言葉にする支援 ◇「キレル」は「変える力」になり得るか <p>【連載】◇ワクワクを加速させる「創造」と「つながり」</p> <p>◇教頭のままざし ともに成長する集団を目指して 濟城智哉 (宇多津町立宇多津北小学校教頭)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーへの本音
<p>初等教育資料 (東洋館出版社)</p> <p>3月号</p>	<p>【特集1】学習指導要領実施状況調査結果を踏まえた学習指導の改善・充実③ 生活科・道徳・外国語活動・総合学習・特別活動</p> <p>【特集2】図画工作 地域を生かした授業づくり</p> <p>【巻頭言】スポーツの力で「自分らしく幸せに生きられる社会」へ</p> <p>【連載】◇教室での生成 AI 使用、ほったらかしで大丈夫？</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇本当に子供が明日もまた来なくなる学校（楽校）とは？ 子どもの声からはじまる新しい学校づくりの挑戦 ◇アップデート 主体性×DX×対話 先生が変わる 子供が変わる 学校が変わる 亀川小学校の挑戦 ◇「知る」「気付く」「考える」で終わらず「行動する」ことの大切さ 「行動しよう！よりよい環境のために」の実践を通して
<p>中等教育資料 (学事出版)</p> <p>3月号</p>	<p>【特集】コミュニティ・スクールを活用した教育活動の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇中等教育におけるコミュニティ・スクールを活用した教育活動の在り方 中学生のエージェンシーを育むために ◇「地域の子どもは地域で育てる」八王子市のコミュニティ・スクール ◇産学官連携を通じた都市型コミュニティ・スクールの実践と成果 地域の次世代リーダー育成に資する人の地域循環教育

		<p>【連載】◇各教科等の改善／充実の視点 各教科調査官 ◇部活動の地域展開等の全国的な実施に向けて 学校と地域の共創によるスポーツ・文化芸術環境の進化</p>
学習情報研究 (学習情報研究センター)	3月号	<p>【特集1】表現ツールとしての ICT 【特集2】 デジタル・シティズンシップのシティズンシップを考える 【連載】◇「未来の学習コンテンツ EXPO2025 (冬期)」報告 ◇子供たちの「生きる力」を育むアントレプレナーシップ教育 ◇2025年度 教育 DX 推進フォーラム 出展企業の製品情報!</p>
実践みんなの特別 支援教育 (Gakken)	3月号	<p>【特集】知的障害がある子の意欲を引き出す生活を大事にする授業づくり ◇「やりたい!できた!」を育む生活を大事にする授業づくりの視点 ◇学級園で育てた百日紅を使った子どもたちの意欲を引き出す生活単元学習 ◇夏フェスをテーマに「やってみたい」を引き出し広げる授業づくり ◇働くやりがいと手ごたえを味わえる地元の伝統産業を取り入れた作業学習 ◇「生活を大事にする教育」から考える知的障害教育 【連載】◇特別支援学校だからこそ!防災防犯対策の最重要ポイント ◇校内研修で学習の困難さを疑似体験! 児童生徒の心情を踏まえ支援を考える ◇共に学ぶ教室、共に生きる社会のつくり方 おむつでファッションショー 福祉×オシャレでマイナスをプラスに</p>
特別支援教育研究 (東洋館出版社)	3月号	<p>【連載】子どもの強み、良さ、学び方を活かす ◇限られたものさしによる「子ども理解」からの脱却 ◇子どもや学習集団の良さ・強みを指導・支援に活かす指導の工夫 ◇話し言葉が出る以前の子どもの学びを支える ◇的確なアセスメントに基づく子ども理解 ◇読み書きが苦手な子どもの学習意欲を支える実践 ◇文化的・言語的に多様な背景をもつ子どもを支えるための視点 【巻頭言】新学習指導要領とこれからの特別支援教育 【連載】◇「日常生活の指導」の教材・教具・補助具の活用レシピ Part2 ◇各教科等を合わせた指導 地域資源を活用したカフェ運営の取り組み ◇日記指導を通して、文章力とコミュニケーション力の向上を目指した実践 思いを言語化し他者に対する意識が育まれた A さんの変容過程</p>
学校図書館 (全国学校図書館 推進協議会)	2月号	<p>【特集I】子どもにおくるメッセージ ◇読むことが苦手でも本は楽しめる ◇「わたしにぴったりの言葉をさがしにいこう」 ◇想像力ってタイムレスでエンドレス ◇胸の一番深いところに残るもの ◇ヒロシマ・ナガサキを語りつぐこと 【特集II】読書感想文コンクール入賞作品</p>
高校教育 (学事出版)	3月号	<p>【特集】変わる高校、変わる普通科 ◇社会からの期待に応える「普通科」をめざして ◇管理運営上の課題</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ◇社会の「創り手」の育成を目指した教育課程の創造 ◇これからの大学入試の在り方は？ ◇生徒指導提要と学校経営 ◇3つのキーワードで考える普通科の就職問題・キャリア教育 ◇普通科高校の現状は？
学校事務 (学事出版)	3月号	<ul style="list-style-type: none"> 【特集】つながろう！学校の「一人職・少数職」 ◇一人職に求められるこれからの働き方 ◇保健室と事務室はまるで学年団！一人職の絆 ◇栄養教諭との連携・連帯で解決できる課題 ◇一人職・少数職の専門職がつながる新しい協働のかたち 【インタビュー】「マーケティング思考」で学校を変えよう 【特別企画】学校事務職員から校長になった私から伝えたいこと（後編） 【連載】◇自作システムでちょっと便利！電子起案・電子決裁システム ◇実践のススメ 「教職員おめでとうパック」の作成 ◇気になる教育トピック 小学校給食費の抜本的な負担軽減について ◇就・修学支援制度の今後の見通しと学校事務職員への期待 ◇学校探訪 木の香りに包まれた日本最大級の木造校舎 流山市立おおぐろの森中学校（千葉県流山市）
指導と評価 (日本教育評価研究会)	3月号	<ul style="list-style-type: none"> 【巻頭言】コロナ・レガシーとしてのオンライン授業 【特集】コロナ禍がもたらしたもの 直面した課題と得られた学び 【連載】◇次期教育課程における学習評価の改善策はこれだ！ ◇カリキュラム・マネジメント推進における校長のリーダーシップ ◇数学的な見方・考え方を引き出す教材 ◇非認知能力を育てる心理教育 ◇つなぐ・つながる支援 ◇標準学力検査を指導改善に生かす ◇通常学級の特別支援教育 ◇データで読み解く子どもたちの今 ◇協働的な学びへの道のり ◇魅力ある学校づくりは集団づくりから